

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年1月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【海水放射線モニタ小屋のエアコン点検中における塩化ビニル配管の破損について】 協力企業作業員が海水放射線モニタ小屋のエアコン点検中※、海水放射線測定装置に接続されている塩化ビニル配管を誤って足で踏み、配管を破損。 破損箇所は補修済み。 今後、再発防止対策を検討。 ※エアコンは海水を使用するタイプのもので、海水ラインは放射線モニタ海水取水系統と共用であり、点検中は海水の取水を停止することから海水放射線モニタを停止する。 なお、停止についてはホームページに公表している。</p>	GⅢ	1月26日
2	<p>【5/6号機化学分析室空調設備冷却器バッファタンク水位計からのにじみについて】 協力企業作業員が5/6号機化学分析室空調設備冷却器のバッファタンク水位計から、水のにじみを確認。 水位計の元弁を「閉」とし、にじみは停止。 確認の結果、水位計のボルト部1箇所よりにじみを確認。 水位計修理までの間、水位確認時のみ当該弁を「開」操作することにより、水位確認は可能。 今後、水位計の修理を実施。</p>	GⅢ	1月26日
3	<p>【3号機循環水ポンプ(A)用電動機の上軸受け潤滑油排油弁フランジ部からの漏えいについて】 協力企業作業員が現在使用されていない3号機循環水ポンプ(A)用電動機の上軸受け潤滑油排油弁フランジ部から、油が滴下していることを確認。 原因は、フランジ部ガスケットの経年劣化により、抜けきれていなかった残油が漏えいしたものと推定。 今後、潤滑油の抜き取りおよび排油ラインの養生、他の同様な電動機の外観点検を実施。</p>	GⅢ	1月26日
4	<p>【構内絶縁油タンクエリアにおける絶縁油タンク下部からの油の漏えいについて】 構内絶縁油タンクエリアにおいて、絶縁油タンクの補修塗装の準備作業をしていた協力企業作業員が、No.4、5絶縁油タンク油面計元弁フランジ部から、低濃度のPCB※含有の絶縁油が漏えいしていることを確認。 漏えいした油は堰内に留まっており、側溝への流出はなく、周辺に火気、可燃物なし。 No.4の油面計元弁は「閉」不能のため自己融着テープにて補修、No.5の油面計は元弁を「閉」とし漏えいは停止。 原因は、タンク内の結露水が油面計元弁フランジ部に溜まり、凍結によってフランジパッキンが破損し、漏えいに至ったものと推定。 なお、消防により危険物漏えい事故と判断。 また、堰内に漏えいした絶縁油は移動式積載タンクに回収し、油面計元弁フランジ部のパッキンの交換、凍結防止対策として保温材の取付を実施済み。 今後、再発防止対策を検討。 ※低濃度のPCB:0.5ppm超のポリ塩化ビフェニル</p>	GⅢ	1月27日